

野口 義文 (のぐち よしふみ)

立命館大学研究部事務部長 立命館大学産学官連携戦略本部副本部長



1986年立命館大学法学部卒業。2005年立命館大学BKCリエゾンオフィス課長、2008年立命館大学研究部次長、2009年立命館大学研究部事務部長、現在に至る。関西TLO株式会社取締役（兼務）。2011年度JSTイノベーションコーディネータ賞受賞。文部科学省科学技術・学術審議会専門委員、JSTイノベーション人材育成委員会委員、理化学研究所事務アドバイザー・カOUNシル委員等を務める。現在立命館大学研究部職員約190名の責任者として、研究高度化を牽引。

向 智里 (むかい ちさと)

金沢大学理事（総括・改革・研究・財務担当）・副学長 委託調査検討委員会委員



1981年大阪大学大学院薬学研究科博士課程修了。1981年金沢大学薬学部助手、助教授を経て1998年より同大学薬学部教授。2014年より現職。その間、1986年から1988年にスタンフォード大学博士研究員、2007年文科省在外研究員（エモリー大学）。2007年から2012年まで金沢大学薬学部長、2006年から2014年まで同大学学長補佐を務める。専門分野は有機合成化学、有機金属化学、天然物合成化学。

森田 育男 (もりた いくお)

東京医科歯科大学理事・副学長 委託調査検討委員会委員



1975 年千葉大学薬学修士課程修了、1980年東京大学で薬学博士取得。1985年東京都老人総合研究所研究員を経て東京医科歯科大学助教授。2002年東京医科歯科大学教授に就任、2009年より東京医科歯科大学理事・副学長。その間、PMDA専門委員、NEDO評価分科会委員長、JST若手自立作業部会委員を務める。炎症、再生医療などの基礎研究とともに、産学連携、研究不正などの研究に従事。

山本 進一 (やまもと しんいち)

岡山大学理事・副学長



1984年京都大学大学院農学研究科博士後期課程林学専攻 修了、博士（農学）。岡山大学農学部助教授を経て、1996年名古屋大学農学部教授。1999年同大学院生命農学研究科教授。2002年同大学院生命農学研究科長。2004年名古屋大学理事（研究・国際交流担当）・副総長。2009年同大学総長顧問。2011年から岡山大学理事・副学長（研究担当）（現職）。この間、大学評価・学位授与機構客員教授として大学評価システム開発に従事する。専門分野は森林科学。名古屋大学名誉教授。



文部科学省委託調査研究U R A シンポジウム

大学の研究経営システムの確立に向けて

経営を担う・支える
人材確保に
どう取り組むか

開催日時／2016年 3月6日 (日)
13:00～18:00予定（開場12:00）

会 場／東工大蔵前会館
主催／文部科学省 運営／株式会社 三菱総合研究所

講演者プロフィール

柘植 綾夫 (つげ あやお)

公益社団法人科学技術国際交流センター会長



1943年6月13日生まれ。1967年3月東京大学工学部卒業、1969年3月東京大学大学院工学研究科修士課程修了、1973年3月東京大学大学院工学研究科博士課程修了（工学博士）。Harvard Business School, AMP101（1987）修了。三菱重工業（株）技術本部高砂研究所所長、同社取締役技術本部長、同社代表取締役・常務取締役技術本部長を経て、内閣府総合科学技術会議常勤議員、芝浦工業大学学長、公益社団法人日本工学会会長を歴任。現在に至る。主な著書に、『イノベータ日本』（オーム社：共著）他。

上山 隆大 (うえやま たかひろ)

政策研究大学院大学 副学長



1958年大阪生まれ。大阪大学経済学部経済学科博士課程修了。スタンフォード大学歴史学部大学院修了（Ph.D.）。上智大学経済学部教授・学部長を経て、2013年4月から2015年まで慶應義塾大学総合政策学部教授。2015年4月から現職。スタンフォード大学歴史学部・客員教授、東北大学工学部大学院工学研究科客員教授などを歴任。主な著書に『アカデミックキャピタリズムを超えて：アメリカの大学と科学研究の現在』（NTT出版、読売・吉野作造賞）などがある。専門は、科学技術政策、科学技術史、公共政策、イノベーション政策、高等教育論。

西郡 大（にしごおり だい）

佐賀大学 IR 室長、アドミッションセンター准教授



東北大学大学院教育情報学教育部博士課程修了。博士（教育情報学）。早稲田大学教育学部卒業後、民間企業にてシステムエンジニア（SE）として勤務。退職後、東北大学大学院へ進学。2009年より佐賀大学アドミッションセンター准教授として勤務。2012年より同大学インスティテューショナル・リサーチ室長を兼務。専門は、教育評価、入学者選抜方法論。

岡田 昌治（おかだ まさはる）

九州大学 国際法務室副室長・教授／ユヌス&椎木ソーシャルビジネス研究センター エグゼクティブ・ディレクター／NY 州弁護士



1979年電電公社に入社。NTTグループ、特に米国子会社のNTTアメリカ（NY）、インターネット・ビジネスのNTT－Xなどにおいて国際法務を中心に幅広くNTTの国際ビジネスを担当。在米9年のキャリアとインターネット・プロジェクトやベンチャー・インキュベーションの経験は豊富。2001年NTT退職後、2002年10月より九州大学法科大学院にて「契約実務」、「インターネットと法」、「国際企業法務」等の講座を担当するとともに、知的財産本部において産学官連携の推進に携わる。また、2008年より、ノーベル平和賞受賞者のムハマド・ユヌス氏（バングラデッシュ）とソーシャル・ビジネスの推進のための国内外のプロジェクトを担当する。もっともユヌス氏に近い日本人。2011年4月より現職。

伊藤 雄一（いとう ゆういち）

大阪大学 クリエイティブユニット准教授



2000年、大阪大学大学院工学研究科博士前期課程修了。02年同研究科博士後期課程中退と同時に同研究科助手。情報科学研究科助教を経て、08年より大阪大学クリエイティブユニット（旧ウェブデザインユニット）准教授。博士（情報科学）。大阪大学の広報・ブランディングをディレクションする傍ら、研究者としてヒューマンコンピュータインタラクション業界でも活躍中。国内外の学術会議やシンポジウムにおいて最優秀論文賞、最優秀デモンストレーション賞を受賞。他、Asia Digital Art Award、ナレッジイノベーションアワードグランプリ、大阪大学功績賞、大阪大学総長奨励賞など受賞多数。また学生時代にベンチャー企業のスタートアップにも携わるなどソフト開発者としても活躍。

山野 宏太郎（やまの こうたろう）

株式会社三菱総合研究所 主任研究員



三菱総合研究所入社後、科学技術イノベーション政策、高等教育政策の調査研究や大学向けの教育・研究コンサルティングに従事。調査研究における主な担当プロジェクトは科学技術基本計画（第3～4期）のフォローアップ調査、独立行政法人等の科学技術関係活動等に関する調査など。2012年より東京大学政策ビジョン研究センター客員研究員（併任）。

小泉 周（こいずみ あまね）

自然科学研究機構 研究力強化推進本部 特任教授



慶應義塾大学医学部卒業。卒後、生理学教室で、電気生理学と網膜視覚生理学の基礎を学ぶ。2002年米ハーバード大学医学部・マサチューセッツ総合病院・ハワード・ヒューズ医学研究所のリチャード・マスランド教授に師事。2007年に帰国し、自然科学研究機構生理学研究所の広報展開推進室准教授。2014年より、大学共同利用機関におけるURAとして、自然科学研究機構本部の研究力強化推進本部・特任教授となる。

山崎 光悦（やまざき こうえつ）

金沢大学学長、リサーチ・アドミニストレーター（RA）協議会会長



1976年金沢大学大学院工学研究科修士課程修了。1976年金沢大学工学部助手、1985年助教授、1994年同工学部教授、1989年～1990年カリフォルニア大学サンタバーバラ校研究員。2002年～2010年学長補佐。2010年～2012年理工研究域長および理工学域長、2012年理事／副学長（研究・国際担当）2014年より現職。2015年現在、日本学術会議連携会員、公益財団法人大学基準協会常務理事、RA協議会会長。専門分野は設計工学、計算力学、材料力学など。

飯田 香緒里（いいだ かおり）

medU-net 事務局長、東京医科歯科大学教授



中央大学法学部卒業。専門分野は、知的財産権法及び産学連携活動に関するリスクマネジメントの研究。2005年国立大学法人東京医科歯科大学入職後、2011年産学連携研究センター長、2014年より現職。産学連携活動推進並びに、利益相反マネジメントを含む産学連携コンプライアンス教育及び研究に従事している。現在、経済産業省産業構造審議会知的財産分科会委員、文部科学省科学技術・学術審議会委員、日本専門医機構医療倫理・臨床研究に関する委員会委員に従事している。

川端 和重（かわばた かずしげ）

北海道大学 理事・副学長



昭和60年 北海道大学理学研究科物理学博士課程修了（理学博士）、昭和60年 出光興産株式会社中央研究所入社。平成 6年 北海道大学理学研究科 助教授、平成14年 北海道大学理学研究科 生物学専攻 教授、平成20年 大学院先端生命科学研究院 研究院長、平成23年より現職。大学運営における研究戦略、産学・地域連携、人材育成を担当。